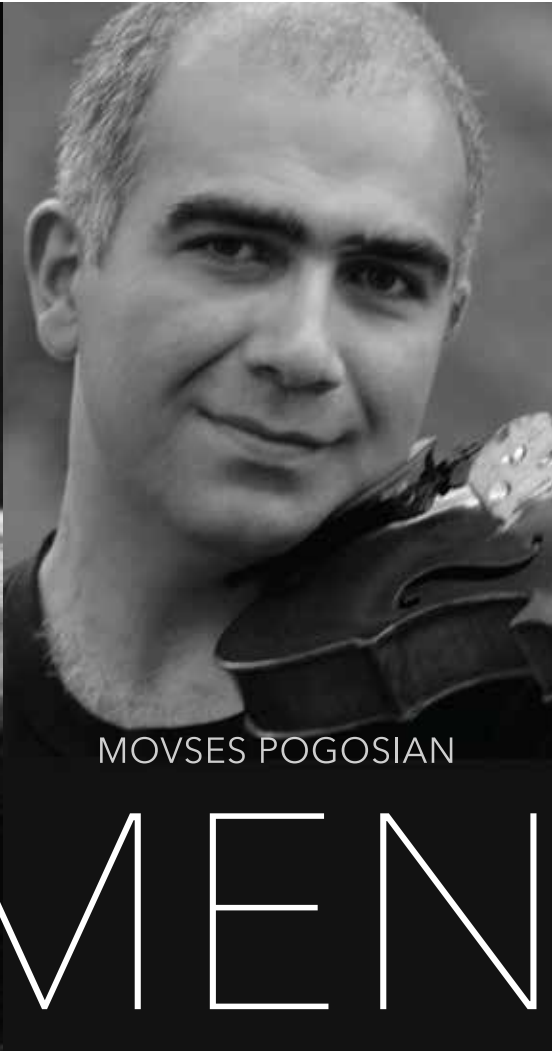




TONY ARNOLD



MOVSES POGOSIAN



KUNIKO KATO

ARMENIAN

SONGS

「アルメニアン・ソングズ」日本初演

世界のマエストロが絶賛するトップソリストの競演

トニー・アーノルド (sop) モブセス・ポゴシアン (vn) 加藤訓子 (perc)

Seven Armenian Songs (2013) ガブリエラ・レナ・フランク作曲

世界初演 2013 Zipper Hall, Los Angeles, CA U.S.A. (米CMA コミッション)

1/20

金曜日

開場 18:30

開演 19:00

全席自由 一般 5,000円・学生以下 3,000円

予約 ticket@kuniko-kato.net

電話 プラットチケットセンター 0532.39.3090 (10:00~19:00 休館日除く)

窓口 穂の国とよはし芸術劇場PLAT (10:00~19:00 休館日除く)

カンファティ <http://www.confetti-web.com> | tel. 0120.240.540

お問い合わせ info@kuniko-kato.net | tel. 080.5075.5038

穂の国とよはし芸術劇場

TOYOHASHI ARTS THEATRE

主ホール

MAIN HALL

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地

tel. 0532.39.8810

主催 kuniko kato arts project



豊橋市立芸術劇場

後援 アルメニア共和国大使館・豊橋市・豊橋市教育委員会・豊橋市美術博物館友の会・公益財団法人豊橋文化振興財団

東海日日新聞社・東愛知新聞社・中日新聞社・朝日新聞社・エフエム豊橋・豊橋ケーブルネットワーク(株)【ティーズ】・時習館40回生同窓会



MOVSES POGOSSIAN (VN)

モブセス・ポゴシアン - ヴァイオリン
米国ロサンゼルスUCLA大学教授、ディリジャン・チェンバーシリーズ・芸術監督。

90年ボストンポップスとのチャイコフスキー・ヴァイオリンコンチェルトで鮮烈な北米デビューを果たして以来、ソリスト、室内楽奏者、現代音楽の探訪者、教育者として多彩な才能を発揮し続ける。19歳、史上最年少のプレイヤーとして第7回USSR国立ヴァイオリンコンペティションで一位を獲得(1985)。後にモスクワチャイコフスキー・コンセルバトリウムにて博士号を取得。モスクワフィルハーモニー、モスクワチェンバーアンサンブル、国立エストニア交響楽団、グルジア、アルメニア、ブランデンブルクアンフォニー、ハーレシンフォニー等世界各地のオーケストラと共演。1989年最初のソビエト音楽家として米国タンゲルウッド音楽祭からのフェローシップを授与される。カルターク、マンスリアン、シェラファンなど著名作曲家から絶大な信頼を得ている。

加藤訓子とは2008年ロサンゼルス・マンデーブニングコンサート(MEC)で共演以来互いに演奏家としての音楽性と芸術性に刺激され、以降、数多くの世界初演にて共演。



TONY ARNOLD (SOP)

トニー・アーノルド - ソプラノ
室内音楽世界で輝くソプラノ、トニー・アーノルド。これまで200以上の作品を世界初演し、コンサートやレコーディングで現代音楽の主要な提唱者として国際的に認知される。(シカゴ・トリビューン)

「今日の作曲家は、彼女の本質的に美しい声、完璧な音楽の才能、そして彼女のミュージシャンシップに強く触発されている。」(Huffington Post)
ニューヨーク・タイムズ紙が、「大胆、強力なインタプリタ」と賞賛するように彼女は、その時代のキャシー・バーベリアンとも称される。2001年ガウデアムス国際コンクール(蘭)と2001年ルイーズD.マクマホンコンクール(米)の両方の最初の受賞者であるトニー・アーノルドは、世界の舞台で最先端の作品と奏者とのコラボレーション続ける。2014年ジョージ・クラムのyellow Moon of Andalusiaの世界初演行うと同時に、George Crumb Ensembleとしての世界ツアー、レコーディングではCrumb's iconic Ancient Voices of Children (Bridge) で2006年にグラミー賞ノミネートされている。メシアン、ウェーベルンに始まり、György Kurtág, John Cage, Georges Aperghis, Philippe Manoury, John Zorn、等、世界的な現代作曲家の作品へのワークとその功績は計り知れない。



KUNIKO KATO (PERC)

加藤訓子 - パーカッション
桐朋学園大学研究科終了。ロッテルダム音楽院を首席で卒業。日本を代表するパーカッションistとして内外で活躍。2011年 スティーブ・ライヒのカウンターポイント代表作を世界で初めて打楽器へ編曲したソロアルバム「kuniko plays reich」を英リンレコードよりリリース。サントリー芸術財団第十二回佐治敬三賞を受賞。

2013年英リンレコードからの第二作目としてグローバルリリースしたアルバム「CANTUS」は、エストニアの巨匠アルボ・ペルトの代表作4曲をフィーチャーし、第26回ミュージックベンクラブジャパン音楽賞最優秀録音賞を受賞。

2015年4月クセナキスの大作「ブレインデス」とソロ打楽器作品「ルボン」をフィーチャーしたアルバム「IX」を世界同時発売。第53回日本レコードアカデミー賞録音部門・現代音楽部門へダブルノミネートされる。

2016年若手プロアーティスト育成を目的にアーティストインキュベーション・プロジェクトinc.を始動し同プロジェクトの芸術監督を務める。

英国スコットランドの高音質で知られる世界的レーベル「LINN」からCDを出す唯一の日本人アーティスト。パール楽器・アダムス社(蘭) インターナショナルアーティスト。

ARMENIAN SONGS

「アルメニアン・ソングズ」~ アルメニア音楽の歴史を辿る旅

アルメニア音楽の父コミタス、ハチャトリアン、マンスーリアン、カルタリアン、そして若手作曲家アヴァネゾフ、シャラフィアン、演奏家にもキム・カシュカシャンとアルメニアには音楽の歴史において重要な音楽家たちが存在します。

美しいアルメニア音楽の歴史を辿りつつ、私たちが生きる現代の音楽シーンへ。アルメニアの美しい謡をちりばめたガブリエラ・フランクによる「セブン・アルメニアンソングズ」はこのトリオのために書き下ろされ、2013年ロサンゼルスで世界初演されました。世界のシーンで驚異的な実力を誇るソプラノ、トニー・アーノルド、アルメニア人ヴァイオリニスト、モブセス・ポゴシアンはアルメニア首都エレバンより人口の多いロサンゼルスにてディリジャン・チェンバーシリーズ芸術監督として、また、UCLAの教授として、アルメニア音楽の普及と未来に向けて母国と世界の架け橋となり新しい作品を世に送り続けています。

また、近年発表した二人による「カフカ・フラグメント」は、カルターク監修の下、ワークを重ね、作品として素晴らしい功績を残しています。

極めて優れた音楽性と技量を併せ持ち、世界のマエストロ達が絶賛する二人の演奏家とともに共演できる喜び、美しいアルメニアの音楽と共に彼らを日本の皆様へ紹介できることを誇りに思います。

加藤訓子

PROGRAM

Gabriela Lena Frank (ガブリエラ・レナ・フランク)
Seven Armenian Songs (2013) - sop, perc & vn (日本)

Artistes Kartalyan (アーティスト・カルタリアン)
THREE Songs (2016) - sop, perc & vn (新作日本初演)

Tigran Mansurian (ティグラン・マンスリアン)
"Lamento" for solo violin (1980)

Komitas (コミタス)
Soprano, Percussion & Violin

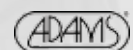
J.S.Bach - Chaconne(vn), R.Berio - Sequenza III (sop), etc

OTHER CONCERTS

Tue, 1/10 Turner Hall - ナッシュビル・テネシー U.S.A.

Sun, 1/15 Zipper Hall - ロサンゼルス・カリフォルニア U.S.A.

Thu, 1/19 神奈川県民ホール - 横浜 Japan



LINN